



新潟市都市政策部 行き（担当：剣持）  
FAX：025-229-5150

おいしさDX共同記者会見  
取材申込書

貴社名	
人数	
代表者	
連絡先	

令和7年2月3日（月）正午までに、FAXまたはメールにより  
新潟市都市政策部 政策監グループ宛てに送付してください。

**【取材先等】**

- 日時：令和7年2月6日（木）午前10時から
- 会場：新潟市役所本館 6階講堂

**【取材における留意事項】**

- 取材の際は、必ず自社腕章を着用してください。
- 取材にあたっては現場担当者の指示・誘導に従ってください。

# 地方大学・地域産業創生交付金（新潟市）〈R7年度～R16年度（R11まで国費支援）〉

## （にいがた2km「おいしさDX」産学官共創プロジェクト※）

※今後、地方大学・産業創生法に基づく計画の認定手続きが必要

内閣府資料から抜粋

### 概要

- 新潟市の都心エリア「にいがた2km」を拠点とし、新潟大学、地元IT企業・食関連企業等が協働し、デジタル技術を活用した、味の特性分析による**食の高付加価値化・ブランド化**と**効果的・効率的な商品開発**を行い、食や農など新潟市の強みを生かした**革新的ビジネスの創出**と若者にとって**魅力的な就業の機会の創出**に取り組む。

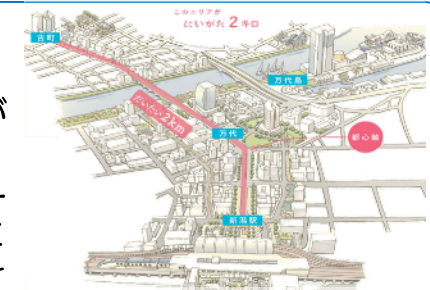
### 取組内容

#### （プロジェクトの背景・狙い）

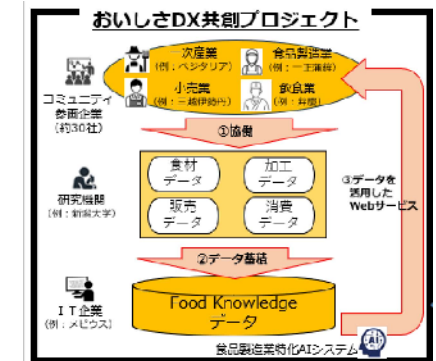
- 地域経済の底上げには、主力産業である食関連産業において、さらなる高付加価値化が必要であり、観光面でも「食」の魅力を活かしきれていないことが課題となっている。
- にいがた2kmには、日本海側最大の飲食・宿泊・商業集積やIT産業の集積が形成されており、にいがた2kmを起点に、新潟大学と地元企業が協働し、**デジタル技術の活用**によって、**食産業の競争力強化と若者に魅力的な産業創出**を目指す。

#### （具体的取組）

- 新潟大学、地元IT企業・食関連企業等が「**おいしさDX共創コミュニティ**」に参画。
- コミュニティ参画企業の協力により、食に関する各種データを収集し、**データベースを構築するとともに**、地元IT企業である（株）メビウスが、蓄積されたデータを活用して**地元事業者のニーズに合わせたAIを活用したWebサービス**を開発し、提供。
- 新潟大学は、「**社会共創フードサイエンスセンター**」を新設するとともに、**トップレベル人材を招へいし**、食の研究・教育機能を強化。また、R7年度より、学生や社会人を対象とした「**食のデジタル人材育成プログラム**」を開講し、食品製造業の現場で分析データやAIを活用した実務を遂行できる人材を育成。
- 「おいしさDX共創コミュニティ」において、**地元食関連産業と学生のマッチング**の機会を提供。また、企業と大学研究者のマッチングも推進し、共同研究の創出も図る。



にいがた2kmのイメージ



企画開発の現場



Webサービスの事例  
AIによる新商品開発（属人化解消・新発想）

事業責任者：林 雅人（株式会社メビウス DXコンサル部 部長）  
主な参画機関：（官）新潟市（学）新潟大学（産）株式会社メビウス 他

<令和7年1月時点>